

論 説

2007年ユニバーサル技能五輪国際大会を終えて

(財)2007年ユニバーサル技能五輪国際大会 日本組織委員会

I はじめに

去る2007年11月14日(水)から11月21日(水)に、第39回技能五輪国際大会と第7回国際アビリンピックが、2007年ユニバーサル技能五輪国際大会として、静岡県において世界で初めて同時に開催された。日本での開催は、技能五輪は1985年第28回大会が大阪で開催されて以来22年ぶり、アビリンピックは1981年第1回が東京で開催されて以来26年ぶりの開催となった。両大会合わせて、世界の55の国・地域から1,172人の選手が来日し、技能五輪は47職種に、アビリンピックは30種目にそのもてる技能を競った。

日本は、技能五輪には51人の代表選手、アビリンピックには80人の代表選手のいずれも過去最多の代表選手を大会に派遣した。技能五輪は、金メダル16、銀メダル5、銅メダル3を獲得し前回大会に引き続いて金メダル獲得第1位に、アビリンピックには80人の選手が参加し、金メ

ダル12、銀メダル17、銅メダル15を獲得し、過去最高の成績を上げた(表1 参照)。

会場などに技能五輪とアビリンピック合わせて約29万人の来場者が見学等に訪れた。小中学生は静岡県下を中心に、高校生、訓練校生などは、静岡県及び神奈川県や愛知県などの近隣から数万人が競技の見学に訪れ、競技を食い入るように見つめる小中学生、高校生、訓練校生などの姿が会場のいたるところで見ることができた。競技会場以外でも、技能五輪の選手や選手団役員が沼津市内の小中学校を、アビリンピックの選手や選手団役員が静岡市内の小中学校を訪問するなどのイベントが行われ、これからの日本を担う世代と世界から来た技能者との交流も図られた。

ここでは、若き技能者の祭典、第39回技能五輪国際大会への取り組みを中心にして大会への取り組みとその成果を紹介していく。

項目	総数	第39回技能五輪国際大会	第7回国際アビリンピック
参加国・地域	※ 62	46	34
競技数	77	47	30
選手参加国・地域	※ 55	46	23
参加選手数	1,172	812	360
参加者数	3,771	2,861	910
日本選手	81	51	80
競技会場等来場者	約29万人	約23万人	約6万人

※両大会ともに参加している国、地域は1とカウント

表1 2007年ユニバーサル技能五輪国際大会参加者数及び来場者数



写真1 開会式で入場する日本選手団の様子

Ⅱ 大会への取り組みとその成果

2007年は、世代間人口分布が最も厚い層である1947年生まれが60歳を迎える戦後世代の定年ラッシュが始まり、大企業においてもこれまでのベテラン社員が培ってきた技能をどのように継承していくか、いわゆる「2007年問題」が顕在化してくる時期である。また、近年、若者のものづくり離れが指摘されている状況であること。このような時期に、大会が四半世紀ぶりに日本で開催されるにあたり、

- ・障害の有無に係わらないものづくり技能の重要性、技能者育成の必要性を広く一般にPRしていくこと

- ・日本の次の世代を担う高校生、訓練校生や中

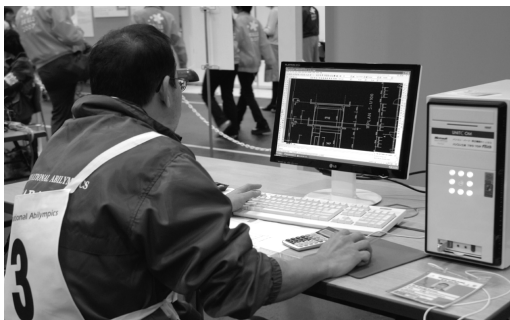


写真2 国際アビリンピックの競技の様子

学生、小学生及びその保護者の方々に対して、ものづくり技能の魅力や面白さなどを分かり易く伝えていくこと等をポイントに、大会の周知や広報を進めた。

1 次世代層に向けた取り組み

(1) 取り組みの内容

映像、イラストや写真を中心にして分かりやすい広報ツールの作成・配布を行った。また、技能の面白さを実生活に置き換えて理解してもらうために、製造現場で活躍する若い技能者の紹介などを製品に使われている技能と絡めて紹介をした。具体的な取り組みは以下の通り。

① 「ものづくり情報ネット」の開設

(<http://www.mono.skillsfestival2007.or.jp/>)

平成17年度から高校生、訓練校生などを対象として、広く一般にもものづくりの魅力、ものづくり技能の習得に興味を喚起することを目的として開設したホームページ。大会の実施職種の動画や写真等、技能情報マガジンSkill、技能ハトウー講座など情報を掲載。

② 技能情報誌（「技能情報マガジンSkill」）の発刊

平成17年度から平成18年度に7回発刊（2007

年ユニバーサル技能五輪国際大会特集号を含む)。工業高校生及びその指導者、職業能力開発施設の受講生及びその指導されている方、技能五輪全国大会の参加企業等の人材育成を担当されている方を対象にして、ものづくり技能の魅力を紹介する技能情報誌。技能五輪国際大会金メダリストなどの若い技能者のインタビュー記事、技能継承に取り組む企業の紹介、世界有数の製品を作る日本の中小企業の技能を紹介するなど。平成17年度各2万部、平成18年度各2万5千部(特集号は5万部)を配布。詳細は、「ものづくり情報ネット」をご参照いただきたい。

③ 小中学生用の副教材(「ものづくり仕事情報館」)の発刊

大会で実施される職種・種目をどのような仕事に使われているか、どのような技能なのかなどを、イラストと写真を中心に解説した副教材。大会に団体で来場する小中学校生に対して事前学習用として約2万部を配布。詳細は、「ものづくり情報ネット」をご参照いただきたい。

④ その他

大会の紹介、大会で実施する各職種・種目を3分程度にまとめた映像を作成した。また、各都道府県に1名程度、若い技能者を技能の魅力を伝えるためのアンバサダーに任命し、ものづくりイベントでの実演、アンバサダー自身の母校を訪問しての技能の実演や体験発表などの実施をした。



写真3 競技の様子を見学する様子

(2) 小中学生、高校生、訓練校生などの数万人の学生が来場

大会には、4日間を通じて沼津市やその近隣の市町村を中心に約2万人の小中学生が団体で来場した。沼津市内の小中学校では、一校一国サポートと呼ばれる1つの小学校又は中学校が1つの国を応援する取り組みが行われ、応援する国・地域の学習、職種などの学習が事前に学校単位で行われた。また、応援する国の選手や関係者が、学校を訪問して様々な交流が行われた。

一方、高校生、訓練校生などは静岡県下を中心に、東京都、神奈川県、山梨県、愛知県、岐阜県、三重県などから2万数千人以上が来場した。多くの若者や次の世代を担う学生に大会の競技を通じて、ものづくり技能の面白さをPRできたのではないかと考えている。

2 報道機関等への取り組みとその成果

(1) 取り組みの内容

広く一般にもものづくり技能の重要性やその必



写真4 一校一国サポート運動の様子



要性を伝えていくために、新聞、テレビなどのメディアに対して、大会の周知や参加する選手を紹介したり、その所属企業や業界団体の取り組みを通じて、ものづくり技能の重要性や必要性をPRした。

大会半年前には、報道機関等を対象に記者発表会を開催し、今回の大会の概要、特徴、見所、地元静岡県における取り組みなどの説明をメディア用の資料として配布した。

また、大会に協賛したメディアを通じて、広告の掲載やパブリシティ活動を行い、広く大会の周知を行った。

(2) 目標を大きく上回る29万人を超える来場

大会の来場者は20万人以上を目標において取り組んできた。世界で初めての技能五輪とアビリンピックの同時開催であること、両大会とも四半世紀ぶりの開催であることなどから当初から注目されていたこと、また、大会3ヶ月前くらいから地元メディアだけでなく全国メディアにも大会の記事などが掲載されたことなど、また、地元の周知活動などもあり予想を大きく上回る29万人以上が競技会場などに来場した。真剣に競技に取り組む世界各国の若き技能者の姿を通じて、より多くの方々にもものづくり技能の魅力を伝えることが出来たのではないかと考えている。

(3) 日本選手団の活躍

技能五輪の日本選手団は、前回第38回大会を大きく上回る、金メダル16個、銀メダル5個、銅メダル3個を獲得した。前回大会に引き続いて、金メダル獲得数第1位に輝き、金メダル数は1970年（昭和45年）第19回の東京大会の17個には及ばなかったものの、メダル数は過去最多タイの24個を獲得した（過去の最多は同じく第19回大会）。今大会は、ポリメカニクス職種では、見事日本が8連覇するなど従来から好成績を挙げている機械系職種などだけでなく、洋菓子製造職種、造園職種、配管職種などでもメダ

ルを獲得するなど、それ以外の職種でも日本選手の活躍が目立った。

このように、日本選手の予想をはるかに上回る大活躍もあり、NHKなどの番組で特集が組まれるなど大会後はTVで日本選手の活躍が報道された。これらの報道により、より多くの方々にもものづくり技能の習得に日々取り組む企業や若者の姿が紹介され、より多くの方々にもものづくり技能の重要性や技能者育成の必要性、また、大会の魅力などをPRできたのではないか。



写真7 過去最多タイの24個のメダルを獲得した日本選手

回数	出場選手数	メダル獲得数				金メダル獲得数上位3カ国・地域
		金	銀	銅	計	
第11回	8	5	1	0	6	1位スペイン 2位日本
第12回	14	10	0	2	12	1位日本 2位アイルランド 3位西ドイツ
第13回	17	12	4	0	16	1位日本 2位イギリス 3位ポルトガル、スペイン
第14回	19	6	5	2	13	1位イギリス 2位日本 3位スペイン
第15回	20	9	3	2	14	1位日本 2位オランダ 3位イギリス、イタリア
第16回	20	5	7	2	14	1位スペイン 2位日本 3位西ドイツ
第17回	20	6	2	5	13	1位スイス 2位日本 3位韓国
第18回	23	9	2	4	15	1位日本 2位スイス 3位西ドイツ
第19回	30	17	4	3	24	1位日本 2位西ドイツ、韓国、スイス
第20回	26	10	3	5	18	1位日本 2位スペイン、スイス
第21回	27	5	5	8	18	1位西ドイツ 2位韓国 3位日本、スイス
第22回	26	4	7	5	16	1位スイス 2位韓国 3位スペイン 4位日本
第23回	26	7	4	3	14	1位韓国 2位西ドイツ 3位日本
第24回	27	1	5	6	12	1位韓国 2位スイス 3位オーストリア他3カ国 7位日本
第25回	28	7	8	1	16	1位韓国 2位日本 3位スイス
第26回	28	5	8	4	17	1位韓国 2位日本 3位スイス、西ドイツ
第27回	28	4	5	4	13	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位オーストリア 4位日本
第28回	34	11	8	4	23	1位韓国 2位日本 3位チャイニーズタイペイ、スイス
第29回	30	6	0	3	9	1位韓国 2位日本 3位チャイニーズタイペイ、他2カ国
第30回	27	3	6	1	10	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位オーストリア 5位日本
第31回	26	4	2	2	8	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位オーストリア 4位日本
第32回	27	2	6	5	13	1位チャイニーズタイペイ 2位韓国 3位ドイツ 4位日本
第33回	28	4	3	1	8	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ 3位日本、ドイツ、スイス
第34回	29	2	0	4	6	1位韓国 2位チャイニーズタイペイ、スイス 8位日本
第35回	34	6	3	2	11	1位チャイニーズタイペイ、韓国 3位日本
第36回	33	4	2	4	10	1位韓国 2位ドイツ 3位日本、オーストリア
第37回	34	6	2	4	12	1位韓国 2位スイス 3位日本
第38回	36	5	1	2	8	1位日本、スイス、南チロル・イタリア 4位ドイツ、フィンランド 6位韓国他3カ国
第39回	51	16	5	3	24	1位日本 2位韓国 3位スイス
	776	191	111	91	393	

表2 技能五輪国際大会日本選手団成績の推移（第11回大会以降。日本は第11回大会以降毎回参加）

No.	競技職種名	氏 名	所 属	成 績
1	ポリメカニクス	畑 弾手	セイコーエプソン (株)	金
2	情報ネットワーク施工	山口 雄基	(株) 協和エクシオ	金
3	製造チームチャレンジ	加賀谷一義	(株) デンソー	銀
4		濱口 覚	(株) デンソー	
5		伴 雅広	(株) デンソー	
6	メカトロニクス	江田 和也	トヨタ自動車 (株)	7 位 (敢闘賞)
7		吉川 達也	トヨタ自動車 (株)	
8	機械製図/CAD	大須賀孔明	(株) 日立ハイテクノロジーズ ナノテクノロジー製品事業本部	銅
9	CNC旋盤	藤本アキラ	(株) 日立ハイテクノロジーズ ナノテクノロジー製品事業本部	金
10	CNCフライス盤	海老根章友	(株) 日立ハイテクノロジーズ ナノテクノロジー製品事業本部	金
11	情報技術	岡田 英実	四国総合ビジネス専門学校	18 位
12	溶接	小林 真己	(株) 日立製作所 日立事業所	金
13	印刷	鈴木 康弘	凸版印刷 (株)	6 位 (敢闘賞)
14	タイル張り	高橋 虜太	(株) 奈良屋	11 位
15	自動車板金	水野 峻吾	トヨタ自動車 (株)	金
16	金属屋根葺き	久保 拓也	久保板金	6 位
17	配管	遠間 潔寿	(株) 千代田設備	銀
18	電子機器組立て	清水 輝	日産自動車 (株)	金
19	ウェブデザイン	田代 芳宏	デジタルハリウッド大学	15 位
20	電気	堀井 裕貴	(株) きんでん 人材開発部	金
21	工場電気設備	名久井勝也	(株) 日立製作所 情報制御システム事業部	5 位 (敢闘賞)
22	れんが積み	杉本 敏寿	静岡県タイル煉瓦工事協会	22 位
23	石工	浦田 祐希	職業訓練法人 岡崎技術工学院	銅
24	広告美術	岡田 朋子	静岡県広告美術業協同組合	8 位 (敢闘賞)
25	家具	庄司 卓磨	(有) インテリア北匠工房	18 位
26	建具	野々井義典	(有) 丸生木工所	12 位
27	建築大工	池田 通憲	住友林業ホームエンジニアリング (株)	銀
28	貴金属装身具	今野 琢也	水野学園 専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	9 位
29	フラワー装飾	相馬 祥乃	日本フラワーデザイン専門学校	11 位
30	美容/理容	河野 健太	カットハウス You	17 位
31	ビューティーセラピー	岩辺さくら	日本エステティック協会	11 位
32	洋裁	橋本 恭也	(株) プラス・ワン	4 位 (敢闘賞)
33	洋菓子製造	大島 千奈	学校法人三星学園 にいがた製菓・調理師専門学校 えぶろん	金
34	自動車工	森山 恵介	日産自動車 (株)	銅
35	西洋料理	東屋 美穂	Marry de MANA	5 位 (敢闘賞)
36	レストランサービス	山本 文太	ホテルアソシア静岡ターミナル	8 位 (敢闘賞)
37	車体塗装	岡村 将良	マツダ (株)	10 位 (敢闘賞)
38	造園	早乙女彰将	小杉造園 (株)	金
39		渡邊久美奈	小杉造園 (株)	
40	冷凍技術	小長井悠平	日立アプライアンス (株) 清水事業所	11 位
41	ITPCネットワークサポート	中山 隆生	トヨタ自動車 (株)	銀
42	グラフィックデザイン	峪村 美帆	(株) パワーボム・アンリミテッド	19 位
43	移動式ロボット	山本 哲也	(株) デンソー	金
44		萩野 幸弘	(株) デンソー	
45	抜き型	安達 裕喜	(株) デンソー	金
46	パン製造	中山 博暁	(株) ホテルコンコルド浜松	6 位
47	機械組立て	土谷 幸司	(株) 豊田自動織機	金
48	構造物鉄工	坂本 昭仁	(株) 日立製作所 日立事業所	金
49	木型	今崎 智也	トヨタ自動車 (株)	金
50	左官	堀 美幸	(株) いりやまと	銀
51	曲げ板金	秀島 巧	マツダ (株)	金

表 3 第39回技能五輪国際大会日本選手団の成績